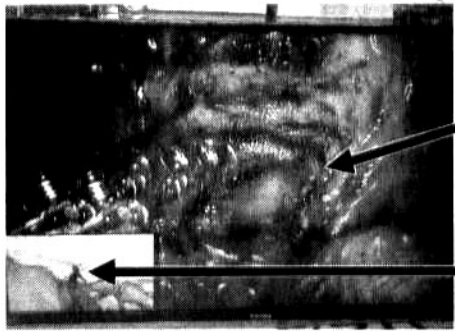


H25
10/17

3D in 3D

3D術野
映像

3DCT用
ポリウム
レンダリング映像



(出所：URCF)

3D術野映像の上にピクチャインして3D
ポリウムレンダリング映像を表示し、3
Dとして視聴する

通信網（JGN-X）を利用した遠隔医療3D裸眼ナビゲーション映像双方向伝送によって行われる。

東北大学大学院医学系研究科・医学部統合遠隔腎臓学分野教授・清元秀泰研究室から3D手術支援用ロボット da Vinci（ダヴィンチ）腎臓手術とそのCT撮影の3Dポリウムナビゲーション映像と3D in 3Dした映像をJGN-Xを使って伝送し、高松の学会会場で3D裸眼モニターで視聴するもの。

3Dナビゲーション用手術映像伝送 URCFが実証実験

隔で
遠会
際学
国医

【松山】FAシステムエンジニアリング（松山市北藤原町）、NHKメディアテクノロジー、東芝で構成するURCF（会長＝鈴木陽一、東北大学教授）は、世界で初めて3Dナビゲーション

用手術映像伝送の実証実験を、第18回国際遠隔医療学会（18-19日）で実施する。国際遠隔医療学会（原量宏大会長）は高松市のサポート高松で開催される。今回の実証実験は、新世代

FAシステムエンジニアリングの中村康則社長は「遠隔操作手術の際、血管、神経などを見分けるのが難しかったが、3D術野映像の上にピクチャインして3Dポリウムレンダリング映像を表示し、3Dとして視聴するのが今回の実証実験の大きな狙いだ」と話している。